

遅刻未遂で時系列報告書を強要 米原駅若手社員が自ら命を絶った背景に何が？

今年1月早々に、米原駅の若い社員が自ら命を絶つといういたましい事態があきらかになりました。

この背景として、この社員が昨年末に出勤時間がおそかったことを「遅刻未遂」と問題にされ管理者から時系列報告書の作成を指示されていたこと、その直後から行方不明になったことが伝えられています。なぜ遅刻ではなく遅刻未遂が問題となるのかというと、米原駅では一時間前の出勤が「奨励」されていたからだといわれています。

「奨励」にすぎないのになんで「遅刻未遂」と問題にされ時系列報告書作成まで指導されるのか。勤務中のことではないのになんで時系列報告書が求められるのか。普通に考えるとまったくおかしいです。しかしおかしいことがおかしくなくまかりとおっていたのです。

亡くなった若い社員は、このような会社管理者の対応に追い詰められていたのではないのか。事態を知った人から、そういう声があがっています。

会社は、一時間前の出勤の「奨励」や、遅刻してないのに「遅刻未遂」と責めて時系列報告書作成を指示するという異常な社員管理を反省しただちに改めよ！

このような事態は、米原駅だけではないと断言できます。昨年、東京交番検査車両所でも出勤が遅かった社員に管理者が「バカヤロウ！おまえなんか会社やめてしまえ！」と大声で怒鳴りつけるという事態がありました。

沈黙するユニオン 会社に抗議せよ

米原駅の社員はおそらくユニオン組合員でしょう。しかしユニオンは、事態の解明についての申し入れや、異常な社員管理への抗議をまったく行っておらず、一言もコメントを発していません。こんな組織は労働組合ではない。

会社と一体となって事実を隠すユニオン役員を糾弾しよう。各職場から、異常な社員管理・人を人と思わない社員管理に抗議し明るい職場をつくるため闘いましょう。